住宅提供打ち切りで

たりした場合、補助対象外となる。このため、住宅無償提供打ち切りで厳しい状況に追い込まれている避難者も少なくない。

原発事故直後、福島市から千葉市へ高校生だった娘(22)を連れて避難した女性(62)は住宅無償提供が終わってから、公営住宅の家賃

新聞博物館で始まる

往年の映画俳優のポートレート撮影で活躍した写真家、早田雄二さん（1916～95年）の作品を集めた企画展「激動昭和の時代を駆け抜けた銀幕のスターたち」が1日、横浜市中区の日本新聞博物館で始まった＝写真＝。10月1日まで。

早田さんは1930年代から、スチールカメラマンとして多くの名優たちの撮

午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）。入場料は一般400円、大学生300円、高校生200円、中学生以下無料で、月曜休館（祝日の場合は火曜）。問い合わせは同館（045・661・2040）へ。

全国・全品送料無料
ビックカメラ.COM
※一部離島除く

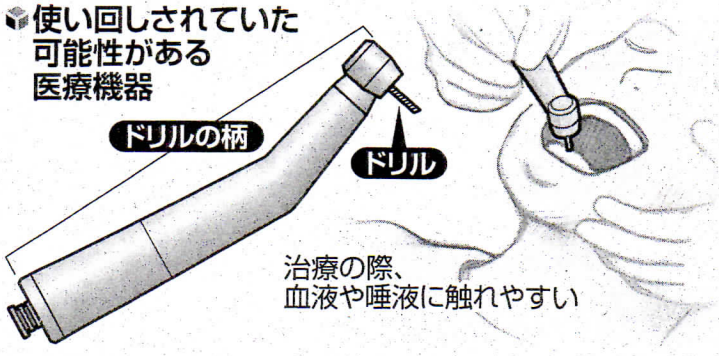
歯削る機器 半数使い回し

院内感染恐れ

■5年前からは改善

全国の歯科医療機関の半数近くが、歯を削る医療機器を患者ごとに交換せずに使い回している可能性があることが、2017年の厚生労働省研究班（代表＝江草宏・東北大学歯学部教授）の調査でわかった。使い回しが7割弱だった5年前の調査に比べて改善したものの、院内感染のリスクが根強く残る現状が浮き彫りになった。

調査は、ドリルを取り付ける「ハンドピース」と呼ばれる柄の部分の管理について尋ねたもの。治療時に口に入れるため唾液や血液が付着しやすく、使い回せば細菌やウイルスを次の患者に感染させるリスクがある。日本歯科医学会の指針は、患者ごとに機器を交換し、高温の蒸気発生装置で滅菌するよう定めている。



調査は日本歯科医師会の会員1000人に郵送で行い、17年2月までに700人から回答を得た。機器について「（全ての）患者ごとに交換」と答えたのは52％。5年前の12年調査（31％）から21ポイント増えた。

一方、指針に沿わずに「感染症患者とわかった場合」「血液が付いた場合など」に交換するとしたのは、それぞれ17％、16％。13％は滅菌せずに「消毒薬で拭く」と回答した。

厚生労働省歯科保健課は「改善傾向にあるが満足できる水準ではない。講習会などを通じ、院内感染対策の重要性を知ってもらう必要がある」と話している。